



桂枝五物湯 (けいしごもつとう)

【処方コンセプト】 歯ぐきの腫れ、口臭のファーストケアに。

桂枝五物湯は、歯槽膿漏で歯ぐきが腫れる・歯が浮く・口臭が気になる、口の粘膜や舌が荒れて痛むなど、口中の急性症状に広く用いることができる。

◆口中の腫れ・痛み・出血・ただれ・発赤など、口中の炎症症状がよい目標となる。

◆本方は、別名を桂枝桔梗湯といい、吉益東洞の愛用した処方である。

◆『勿誤薬室方函』には、「上衝（じょうしょう）、咽喉刺痛、或いは瘡（そう）を生ずる者を治す。東洞曰く、牙齒疼痛する者を治す。南涯曰く、血毒の上に迫る者を治す。その証は牙齒疼痛、両頬腫痛、或いは舌の強ばり痛むなり」とある。

処方名	類方鑑別
桂枝五物湯	歯槽膿漏による歯ぐきの腫れ・口臭、口内炎など口中の急性炎症に。
甘露飲	口腔内が乾燥し、慢性に繰り返す口内炎、舌の荒れ・痛み、歯周炎に。
半夏瀉心湯	みぞおちが痞え、悪心・嘔吐、下痢、舌に厚い白苔のあるものの口臭、口内炎に。
排膿散及湯	炎症は顕著でないが、膿が出そうで出ない、あるいは膿が出て、患部がふさがらないものの排膿に。
立効散	化膿や出血が歯ぐき・粘膜など口中全体に及んでいない歯痛や、抜歯後の痛みに。